

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212V302	地域生活支援方法演習 (Community Health Nursing PracticeVI)	専門教育科目 地域看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	2	3	前	火3・4	後藤奈徳・金崎理子・賀河原靖子 内線:5092/5095 E-mail:goto-naho@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

これまでに学習した地域看護の活動理論と関連科目で学習した内容をもとに、演習を通して、地域社会で生活を営む対象の健康課題を支援するための援助技術とそれらを駆使した保健事業の組み立てや施策化についての実践的理解と、技術習得のための自己学習課題を明らかにすることをねらう。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 発達段階の特性に応じた個人・家族・集団へのアプローチ技術を学ぶ		○					
2. 地域看護活動における家庭訪問の展開方法を理解する		○	○		○		
3. 地域看護活動における健康教育の展開方法を理解する		○		○			
4. 地域看護活動における健康相談の展開方法を理解する		○	○				
5. 地域看護活動における地区組織の育成と支援方法を理解する		○				○	
6. 市町村・保健所組織の中で機能する看護活動に対して理解する		○				○	
7. 保健事業の組み立てや施策化について理解する		○		○	○		○
8. 地域看護活動における生活支援技術習得のための自己の学習課題を明確にする	○						○

【授業の内容】

1・2	母子の健全な成長発達・生活支援に向けて
3・4	母子保健福祉分野における個人・家族・グループ・組織へのアプローチ技法
5～11	母子・成人・高齢者事例における健康教育・健康相談の展開
12～17	成人・高齢者事例を用いた家庭訪問の展開, グループ・集団へのアプローチ
18・19	地区組織活動の育成と看護活動
20～22	保健事業としての組み立てや施策化

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A:知識の定着・確認	○	演習に向けて事前学習, 他領域で学んだ知識の復習, 援助計画や実施記録の作成
B:意見の表現・交換	○	演習課題のグループワーク, ロールプレイ後の評価ディスカッション, 資料作成
C:応用志向	○	健康教育や家庭訪問演習における事例検討, ロールプレイ
D:知識の活用・創造	○	2回の母子事例への面接と援助と実践をもとに作成するケースレポート
*母子演習課題では対象者への依頼・調整・計画立案・援助・評価を主体的に行う		

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	GWと夏季休業中に母子の同一対象者に継続援助事例として面接と援助を行う (6h) 演習に向けて、家庭訪問計画、健康教育計画等の立案・資料作成 (3h)
事後学修	上記事例に対する訪問記録・訪問計画の作成と課題レポート (8h), グループ演習の評価 (2h)

【教科書】

宮崎美砂子他編;最新公衆衛生看護学 第2版 総論 2021年版.日本看護協会出版会,2021.
宮崎美砂子他編;最新公衆衛生看護学 第2版 各論1 2021年版.日本看護協会出版会,2021.
宮崎美砂子他編;最新公衆衛生看護学 第2版 各論2 2021年版.日本看護協会出版会,2021.
厚生労働統計協会,国民衛生の動向,2019/2020または現在手持ちのもの
厚生労働統計協会,国民の福祉と介護の動向,2019/2020または現在手持ちのもの

【参考書】 その他講義中提示する

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7
演習への取り組み状況と計画・資料の内容	40%	○	○	○	○	○	○	○
母子演習課題レポート	60%	○	○		○	○	○	○

【注意事項】
【備考】

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	保健師（都道府県・保健所・市町村・病院）	
実務経験をいかした教育内容	保健師経験を活かし、実践場面を想定した演習内容を設定し、学生の学習を支援する。 教員が住民役や保健師役のロールモデルとなり、学生が対象に合わせてより現実的・具体的に計画立案・実施・評価できるよう支援する。	